

## 職場における熱中症による死傷災害の発生状況

## 1 熱中症による死傷者数の推移（平成 21 年～平成 30 年分）

過去 10 年間の職場での熱中症による死亡者及び休業 4 日以上の上業務上疾病者の数（以下「死傷者数」という。）をみると、年によって差はあるものの、3 人～19 人の範囲で増減を繰り返していたが、平成 30 年は前年の 2 倍に増加した。

その間の死亡者数は 4 人であり、平成 22 年、平成 27 年及び平成 29 年に発生している。

熱中症による死傷者数の推移（平成 21 年～平成 30 年）（人）

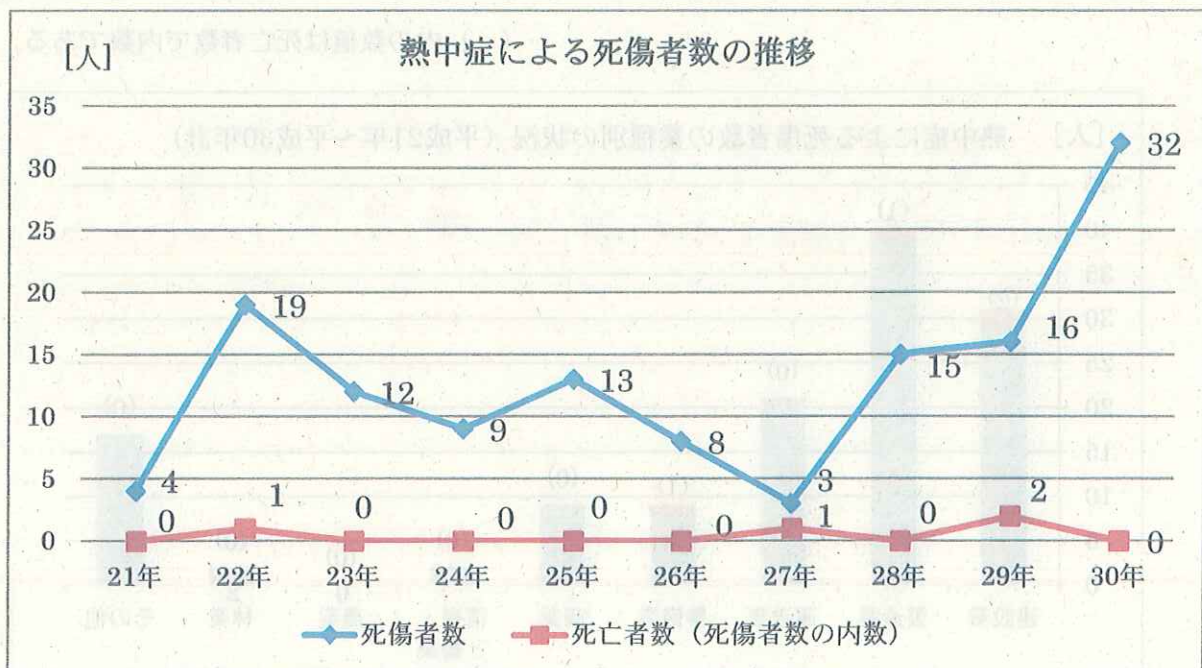
21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
4	19	12	9	13	8	3	15	16	32
(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(2)	(0)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。

参考) 全国における熱中症による死傷者数の推移（平成 21 年～平成 30 年）（人）

21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
150	656	422	440	530	423	464	462	544	1,128
(8)	(47)	(18)	(21)	(30)	(12)	(29)	(12)	(14)	(29)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。 \* 30 年は速報値



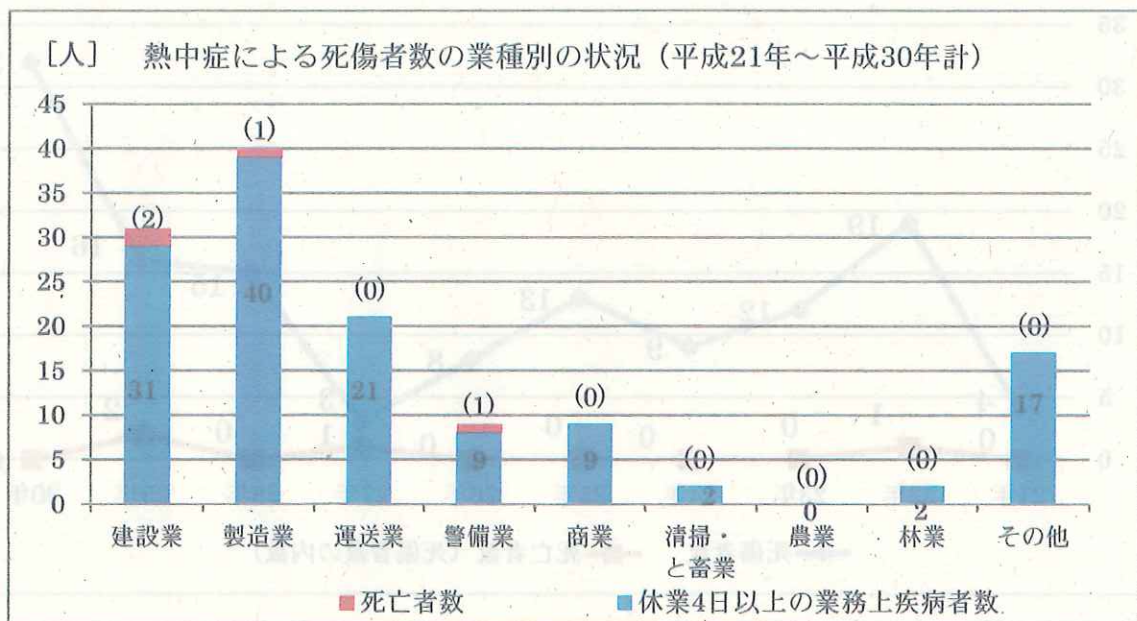
## 2 業種別発生状況（平成21年～平成30年）

過去10年間の業種別の熱中症の死傷者数をみると、製造業が最も多く、次いで建設業で多く発生している。これらの2業種で全体の5割以上を占めている。平成30年は運送業が最も多く発生した。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（平成21年～平成30年） (人)

業種	建設業	製造業	運送業	警備業	商業	清掃・ と畜業	農業	林業	その他	計
平成21年	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
平成22年	4 (0)	5 (1)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	19 (1)
平成23年	3 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	12 (0)
平成24年	3 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	9 (0)
平成25年	5 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	13 (0)
平成26年	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (0)
平成27年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)
平成28年	3 (0)	5 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	15 (0)
平成29年	6 (2)	7 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)
平成30年	4 (0)	7 (0)	8 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)	32 (0)
計	31 (2)	40 (1)	21 (0)	9 (1)	9 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	17 (0)	131 (4)

( ) 内の数値は死亡者数で内数である。



### 3 月・時間帯別発生状況

#### (1) 月別発生状況（平成21年～平成30年）

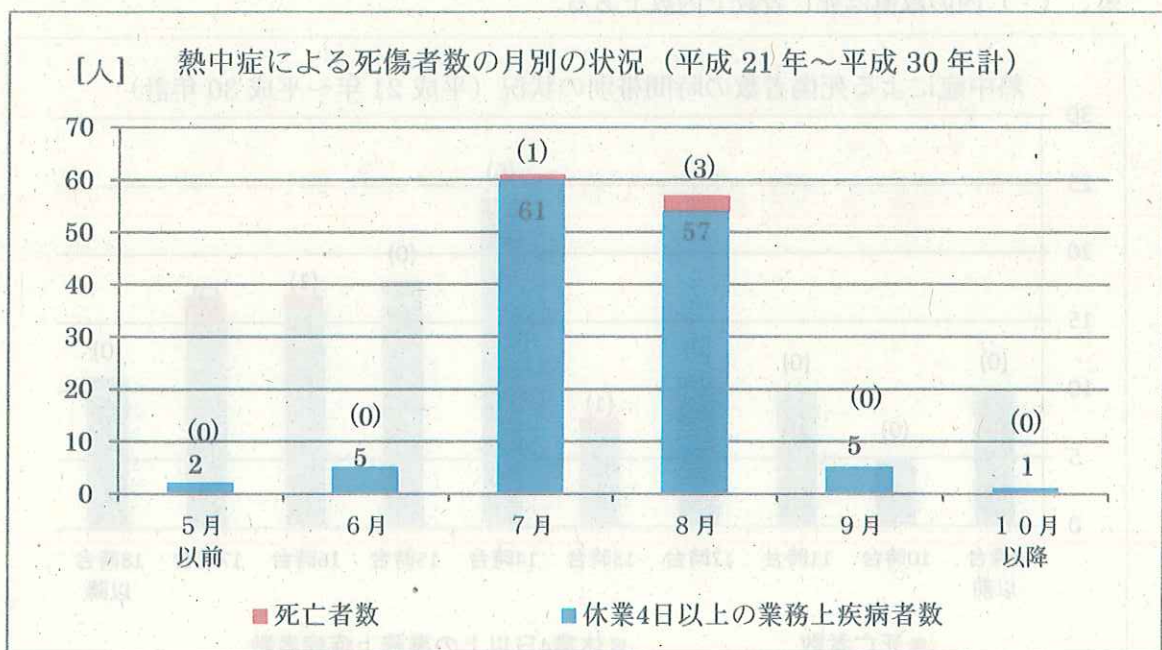
過去10年間の月別の熱中症の死傷者数をみると、全体の9割が7月及び8月に発生している。

熱中症による死傷者数の月別の状況（平成21年～平成30年） (人)

	5月 以前	6月	7月	8月	9月	10月 以降	計
平成21年	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
平成22年	0 (0)	0 (0)	4 (0)	13 (1)	1 (0)	1 (0)	19 (1)
平成23年	0 (0)	3 (0)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	12 (0)
平成24年	0 (0)	0 (0)	4 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (0)
平成25年	1 (0)	0 (0)	6 (0)	6 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)
平成26年	0 (0)	0 (0)	5 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)
平成27年	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
平成28年	0 (0)	0 (0)	10 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	15 (0)
平成29年	0 (0)	0 (0)	7 (1)	8 (1)	1 (0)	0 (0)	16 (2)
平成30年	0 (0)	2 (0)	18 (0)	11 (0)	1 (0)	0 (0)	32 (0)
計	2 (0)	5 (0)	61 (1)	57 (3)	5 (0)	1 (0)	131 (4)

※ 5月以前は1月から5月まで、10月以降は10月から12月までを指す。

※ ( ) 内の数値は死亡者数で内数である。



(2) 時間帯別発生状況 (平成 21 年～平成 30 年)

過去 10 年間の時間帯別の死傷者数をみると、14 時台から急増し、18 時台以降まで高止まりの状態が発生している。

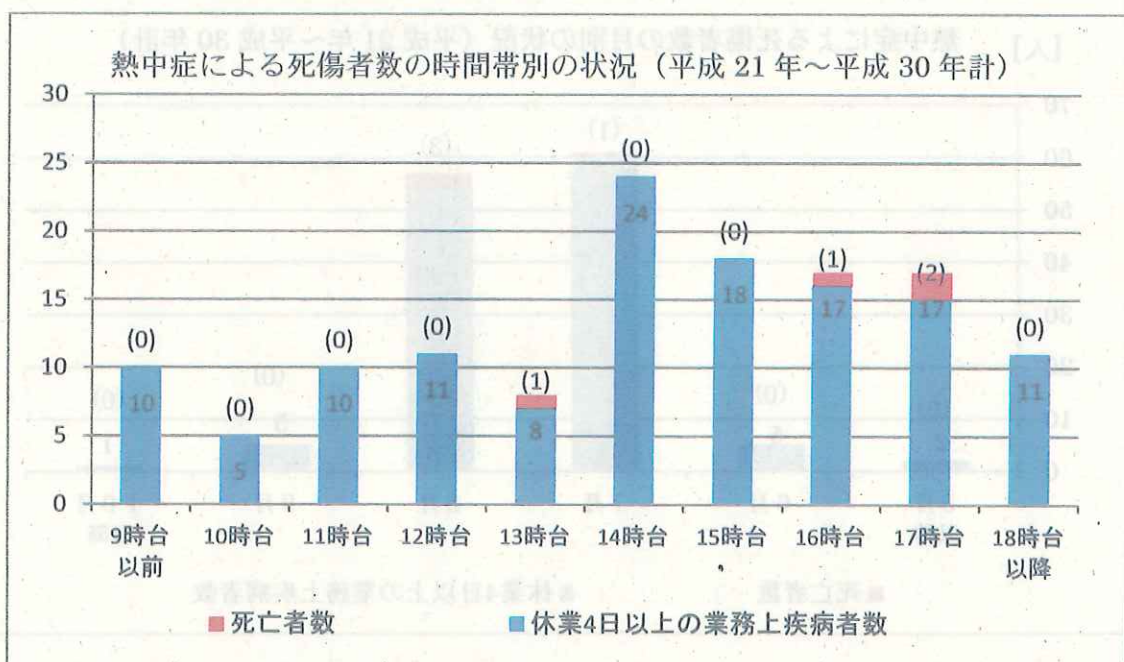
作業終了後の帰宅中又は帰宅後に体調が悪化し、病院へ搬送されるケースも多く見られる。

熱中症による死傷者数の時間帯別の状況 (平成 21 年～平成 30 年) (人)

	9時台以前	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台以降	計
平成21年	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)
平成22年	3 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (1)	3 (0)	3 (0)	19 (1)
平成23年	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	12 (0)
平成24年	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	9 (0)
平成25年	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	13 (0)
平成26年	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (0)
平成27年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
平成28年	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	15 (0)
平成29年	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	4 (2)	2 (0)	16 (2)
平成30年	2 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (0)	4 (0)	7 (0)	3 (0)	4 (0)	3 (0)	2 (0)	32 (0)
計	10 (0)	5 (0)	10 (0)	11 (0)	8 (1)	24 (0)	18 (0)	17 (1)	17 (2)	11 (0)	131 (4)

※ 9時台以前は0時台から9時台まで、18時台以降は18時台から23時台までを指す。

※ ( ) 内の数値は死亡者数で内数である。



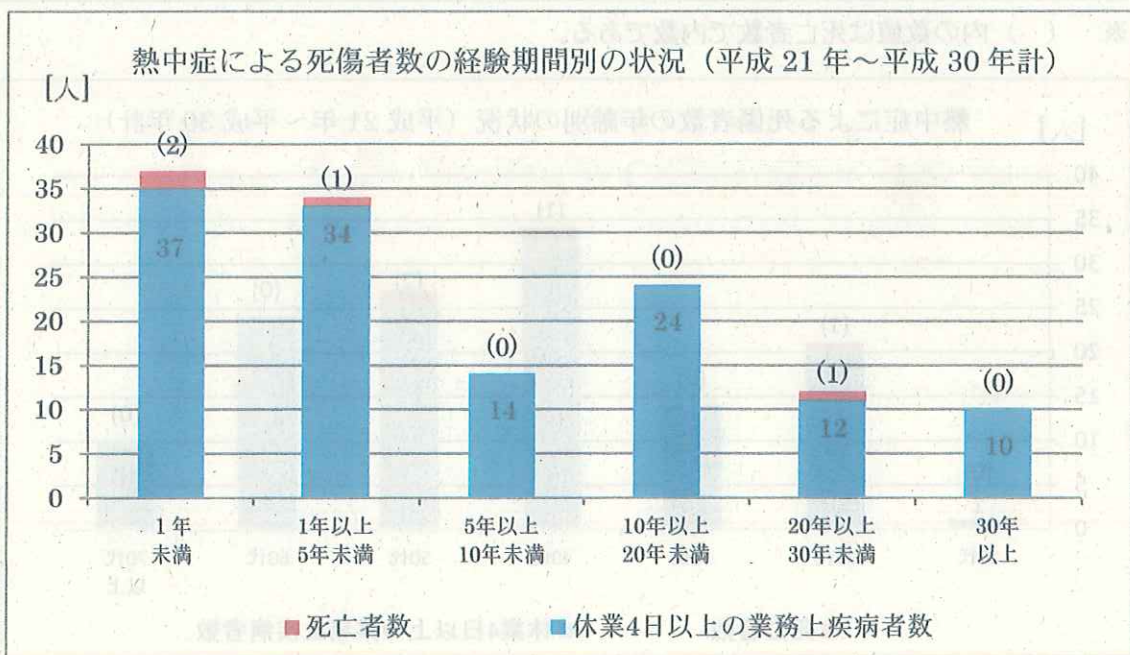
4 経験年数別発生状況（平成21年～平成30年）

過去10年間の経験年数別の死傷者数をみると、1年未満の37件が最多であり、次いで1年以上5年未満の34件と続く。5年未満までの合計71件で全体の5割以上（54.2%）を占める。

熱中症による死傷者数の経験期間別の状況（平成21年～平成30年） (人)

	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	計
平成21年	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
平成22年	4 (0)	5 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (1)	3 (0)	19 (1)
平成23年	3 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	12 (0)
平成24年	2 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	9 (0)
平成25年	3 (0)	3 (0)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	13 (0)
平成26年	2 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (0)
平成27年	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
平成28年	4 (0)	3 (0)	2 (0)	5 (0)	0 (0)	1 (0)	15 (0)
平成29年	5 (1)	5 (1)	0 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	16 (2)
平成30年	12 (0)	10 (0)	3 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (0)	32 (0)
計	37 (2)	34 (1)	14 (0)	24 (0)	12 (1)	10 (0)	131 (4)

※ ( ) 内の数値は死亡者数で内数である。



5 年齢別発生状況（平成21年～平成30年）

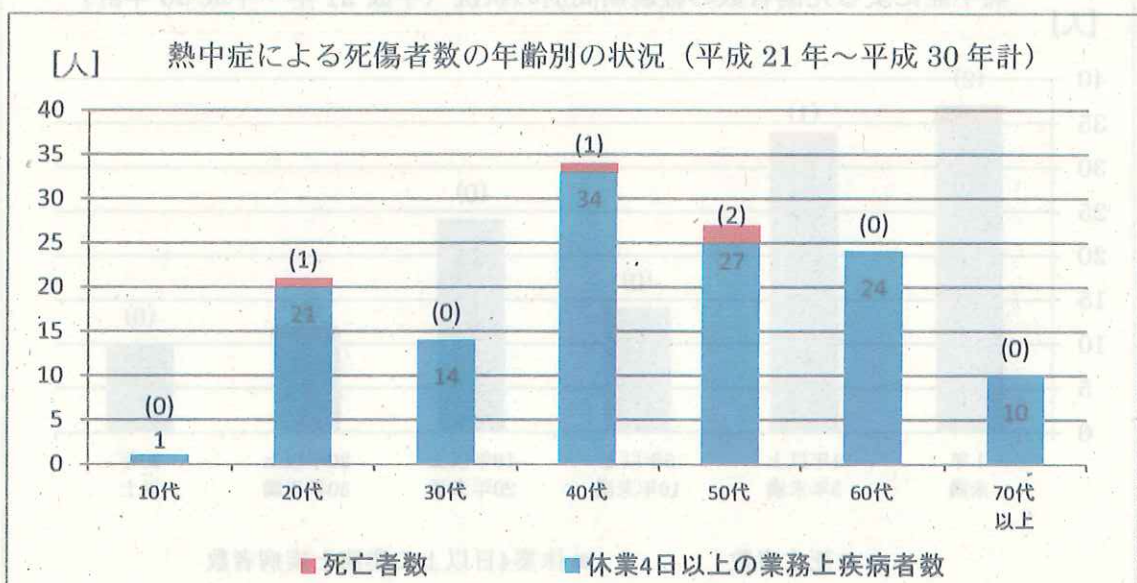
過去10年間の年齢別の死傷者数をみると、10代から70代以上のすべての年代において熱中症が発生している。

労働力人口を考慮すると60代以上の34件(26%)は多いと思われるため、高齢労働者への配慮が必要と考えられる。平成30年は20代と50代が8件と急増した。

熱中症による死傷者数の年齢別の状況（平成21年～平成30年） (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
平成21年	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
平成22年	0 (0)	2 (0)	1 (0)	5 (1)	4 (0)	6 (0)	1 (0)	19 (1)
平成23年	0 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	12 (0)
平成24年	0 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	9 (0)
平成25年	0 (0)	0 (0)	3 (0)	5 (0)	1 (0)	4 (0)	0 (0)	13 (0)
平成26年	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (0)
平成27年	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (1)
平成28年	0 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (0)	15 (0)
平成29年	0 (0)	2 (1)	1 (0)	9 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (0)	16 (2)
平成30年	0 (0)	8 (0)	3 (0)	5 (0)	8 (0)	5 (0)	3 (0)	32 (0)
計	1 (0)	21 (1)	14 (0)	34 (1)	27 (2)	24 (0)	10 (0)	131 (4)

※ ( ) 内の数値は死亡者数で内数である。



**広島労働局管内における熱中症による死亡災害の概要**  
(平成 21 年から平成 30 年)

区分		災害発生状況	
発生年月日	平成 22 年 8 月	<p>被災者は間口 8.8m、奥行き 18mの平屋建て作業場の屋内でヤスリ掛け作業を行っていたが、口から泡を吹きはじめ等の症状が現れたため病院に搬送したが、翌日死亡したもの。</p> <p>窓はすべて開放していたが、無風状態であり通風が不十分。水分摂取・熱中症教育も不十分。気温・湿度は不明。</p>	
業種	機械器具製造業		
被災者	性別		男
	年齢		40代
	職種		研磨
	発生時刻	16時30分	
経験年数	25年		
発生年月日	平成 27 年 8 月	<p>被災者は土木工事現場において、車両等の交通誘導業務を行っていたが、体調不良の様子につき日陰で休憩させた。約 10 分後に様子を見に行ったところ、倒れていたため病院に搬送したが、当日の夜死亡したもの。</p> <p>塩分補給等の対策あり。気温 34℃・湿度 45%程度。災害発生前日は、別の場所で午前 3 時まで警備業務に従事。睡眠不足による疲労も窺われる。</p>	
業種	警備業		
被災者	性別		男
	年齢		50代
	職種		車両等の誘導
	発生時刻	13時50分	
経験年数	0年(9か月)		
発生年月日	平成 29 年 7 月	<p>被災者は屋根改修工事現場において、屋根上で金属製スレートカバーを運搬する作業を行っていたが、当該作業が終了し、地上にて点呼後行方不明となったため、他の従業員が搜索したところ、屋根上で意識を失った被災者が発見された。</p> <p>塩分補給等の対策あり。気温 31℃・WBGT 値 29.3℃。空調服を作業中は着用していたが、気温・WBGT は未把握。熱中症教育無し。予防管理者の選任無し。</p>	
業種	建設業		
被災者	性別		男
	年齢		20代
	職種		配管工
	発生時刻	17時00分	
経験年数	0年(3か月)		
発生年月日	平成 29 年 8 月	<p>被災者は法面防護フェンスの除草作業を終日行い、終業後帰宅しようとして事業場内の駐輪場へ移動、駐輪場で意識不明の状態で見倒れているところを発見された。意識不明の状態が続いていたが、56日後に死亡した。</p> <p>水分補給に問題なし。当日の現場付近の最高気温 32.2℃。現場は作業途中から日陰がなく直射日光を受けながらの作業。休憩場所の整備・設備対策が不十分。WBGT は未把握。熱中症教育不十分。</p>	
業種	建設業		
被災者	性別		男
	年齢		50代
	職種		土木・造園工
	発生時刻	17時55分	
経験年数	4年		

